

暮らし・定住・未来創造

広報

しんじょう 4

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.724



新庄市役所 TEL22-2111
ファクス22-0989

新庄市ホームページ 検索
<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
メール info@city.shinjo.yamagata.jp



ユネスコ無形文化遺産
国重要無形民俗文化財

平成30年度

市政運営スタート!





自然と共生 暮らしに活力

新庄



表紙の写真

平成28年度まで行われていた競技性の高い「新庄ロードレース大会」とレクリエーション性の高い「いものこマラソン」を統合して、誰もが気軽に参加できる新たなスポーツイベント「新庄ハーフマラソン大会」へと生まれ変わりました。
多くのランナーがスタートを切るように、平成30年度も市民の声を反映したさまざまな事業がスタートします。

広報 **しんじょう** 4
SHINJO PUBLIC RELATIONS No.724

目次◎CONTENTS

特集／平成30年度市政

- 4 市政運営
- 6 一般会計当初予算
- 8 まちづくり総合計画重点プロジェクト
- 12 市組織体制
- 14 まちとび
- 16 図書館に行こう
- 17 お知らせなど
- 20 連載 ものづくりの街しんじょう

市長コラム
山尾順紀



新庄看護師養成所の開設に向けて
3月は別れの季節、4月は出会いの季節です。3月18日、北辰小学校の卒業式に出席し、17名が晴れて卒業しました。同窓の議員の話では、昔は1学年100名程、全校生徒600人ぐらいたので、体育館が満杯だったとのこと。私は沼田小学校旧校舎最後の卒業生で、当時グラウンドは周100メートル、全校生徒1000名を超え、体育館、グラウンドとも超満員でした。近年少子化と言われ、どこでも児童の減少が続いています。1年間の出生数を見ますと、新庄市が250名程度に対し、周辺の町村では20名から40名程度の状況で、地域全体で減少傾向が続いています。また、大学や専門学校などへの進学で市外に行く学生が増加傾向にあります。市に高等教育機関が無いということが大きな理由になっているようです。さらに、市外への就職などの傾向も見られます。進学や就職により、地元を一度離れてしまうと中々地元に戻ってこないという状況となっており、このことが地域の人口減少の大きな原因になっていると考えています。

今、コア学園の介護福祉科への入学生が増えています。介護福祉人材が求められる中、卒業生は貴重な存在で全員希望を叶えています。更に、平成33年4月1日開校を目指して、新庄看護師養成所(3年課程)の開設準備をしています。地元の若者の選択肢を広げ、若者の受け皿を用意することは、地域全体に希望を与えることができると思っています。平成35年度には、県立新庄病院が開院予定でもあり、是非卒業生を送り出していききたいものです。



平成30年度 事業スタート!

新たな年度が始まり、今年度も事業がスタートします。

市政運営の基本指針となる市の最上位計画である第4次新庄市振興計画「新庄市まちづくり総合計画」に掲げる新庄市の将来像【自然と共生 暮らしに活力 心豊かに笑顔輝くまち 新庄】を実現できるよう、重点プロジェクトを中心に、市民の皆さまとともに取り組みを進めていきます。

平成30年度の市政

自然と共生 暮らしに活力 心豊かに笑顔輝くまち 新庄



地域基盤力強化

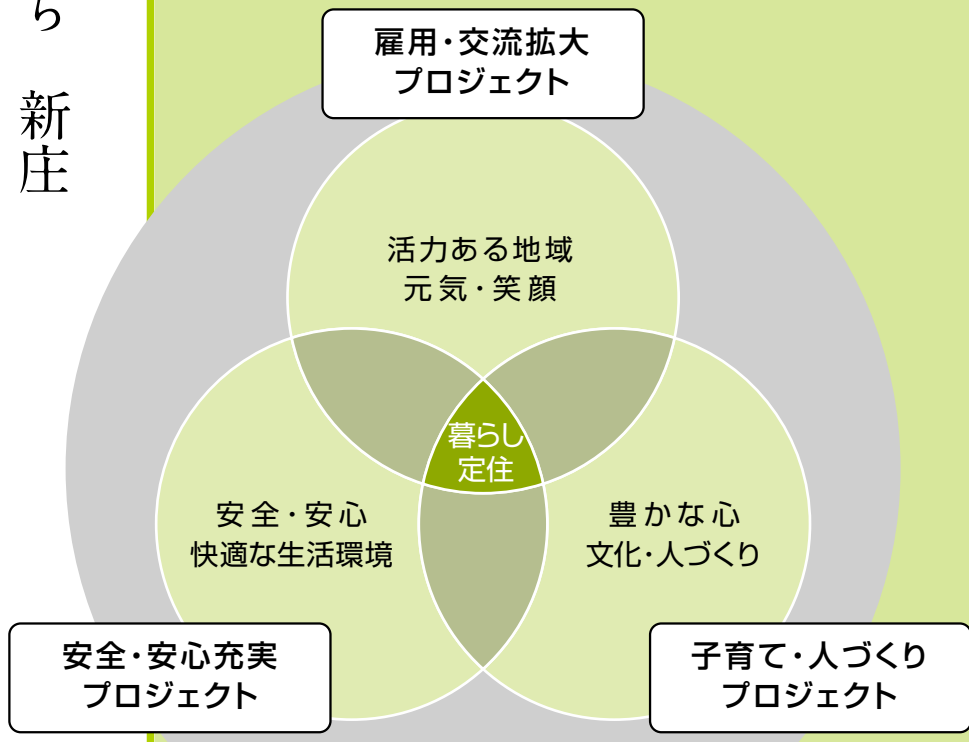


市の行う事業は、市政運営の基本指針となる「新庄市まちづくり総合計画」に基づき実施しています。

本計画は、将来像として「自然と共生 暮らしに活力 心豊かに笑顔輝くまち 新庄」を掲げ、5つの基本目標（産業の振興、健康と福祉の充実、教育の振興、社会教育基盤の整備、環境の保全）を達成するために各種政策を行っています。

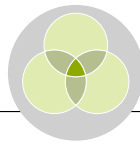
また、限られた経営資源の中で暮らし・定住に向けた本市の重要課題に対応していくためには、選択と集中により、効果的な施策展開を行うことが必要です。将来像を実現していくために、①雇用・交流拡大プロジェクト、②安全・安心充実プロジェクト、③子育て・人づくりプロジェクトの3つを重点プロジェクトと位置づけ、重点的、総合的に取り組みを進めていきます。

今年度は、新庄市まちづくり総合計画後期5カ年基本計画の中間年度



「暮らし、定住、未来創造」
実現のための総合計画重点プロジェクト

自然と共生・循環型社会



にあたります。これまでの成果を踏まえながら、取組の見直しも含めた点検を行い、さらなる成果の達成に向けて取り組んでいきます。

さらに本市では、「経済力」、「地域力」、「教育力」を強化する施策を展開し、これらを結び合わせた「地域基盤力」の向上により、地域の魅力を最大限に引き出し、「元気で、人に優しく、希望のもてるまちづくり」に取り組みんでいきます。

「人行きかうまち」の実現に向けて、新庄の誇る伝統文化の魅力を発信し、人と人との交流や他の地域との交流を深めることで交流人口の拡大を図ります。また、地域の経済活動を高めるため、農業をはじめとする地域産業の振興や企業力の強化を促し、市民の所得を向上させることで、地域の「経済力」を強化していきます。

「人ふれあうまち」の実現に向けて、子どもから高齢者までの誰もが安全で安心して暮らせる地域にしていくなために、大きな地域課題である雪の克服や災害への備えの確保、医療体制の充実を図るとともに、地域コミュニティの活性化を促す取組を強化することで、「地域力」を高めていきます。

「人学びあえるまち」の実現に向けては、少子化が進む中、子どもたちに新庄の歴史や文化、自然等、地

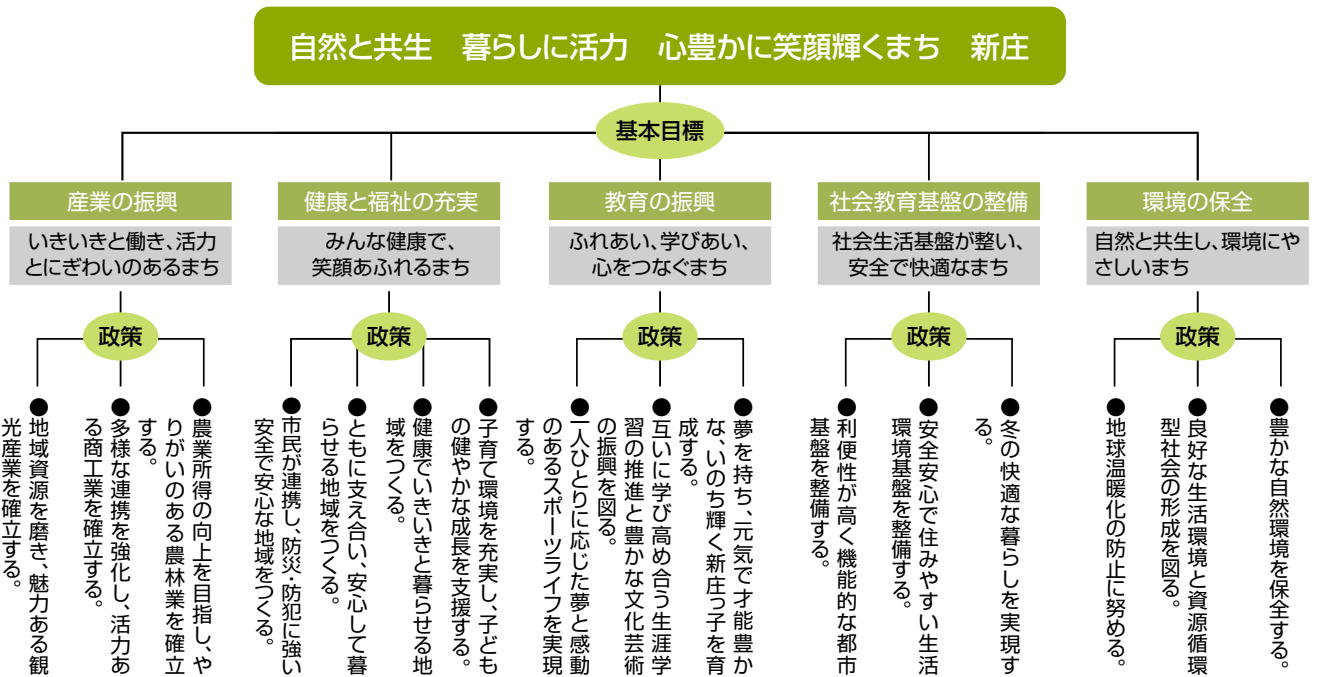
域の理解を深めるための学習活動を通じてふるさとへの誇りと愛着を育み、未来の新庄を支える人材を育てる取組をさらに推進することで、地域全体の「教育力」の向上につなげていきます。

計画や目標実現のために、本市を取り巻く情勢を踏まえ、地域の活力を支える土台となる産業を振興し、雇用創出と所得向上につなげ、暮らしと定住の基盤を強固なものにしていかなければなりません。

看護師養成所の設置に向けた取組では、中心となる教員の確保や建設予定地等の検討を行ってまいりました。また、今年1月からは、看護教育の専門家や地域の医療福祉関係機関に参加いただき、さまざまなご意見を伺いながら検討を行う「看護師養成所開設準備委員会」を設置し、開設に向けた取組をさらに加速させてまいりました。将来像実現のためにも、地域基盤力向上に寄与できる看護師養成所の開設を着実に進めていきます。

次ページからは、平成30年度当初予算と看護師養成所開設準備事業を含む、重点プロジェクトに基づき実施する事業、ふるさと納税(まちづくり応援寄附金)を財源に実施する事業について紹介していきます。

市政運営の基本指針となる目指すべき将来像



平成30年度 一般会計当初予算

※前年度比2.4%減 市民一人当たりの予算額42万5千円

153億8,400万円

予算の概要

市の財政状況は、これまでの財政再建への懸命な取り組みにより、市債残高が大幅に減少、また、各種財政指標も健全な数値を示しています。一方で、社会保障費が増加しており、市有施設、社会福祉施設や明倫学区義務教育学校建設など大規模事業も予定されています。

このような状況の中、将来にわたり持続可能な財政運営を行うため、「中期財政計画」に沿いながら、「新庄市まちづくり総合計画」を基本とし、「雇用・交流の拡大」、「安全・安心の充実」、「子育て・人づくり」の3つの重点プロジェクトを中心とした予算配置としました。

特に、少子化対策や子育て支援、地方創生のための総合戦略関連事業などのソフト事業のほか、市営バスまちなか循環線運行事業、明倫学区義務教育学校建設事業など、地域課題の克服に向けた取り組みに対応する予算編成となりました。

歳入の特徴

①市税 44億4,700万円(0.3%減)
個人市民税が808万円の増加、固定資産税が1,334万円の減少でしたが、社会

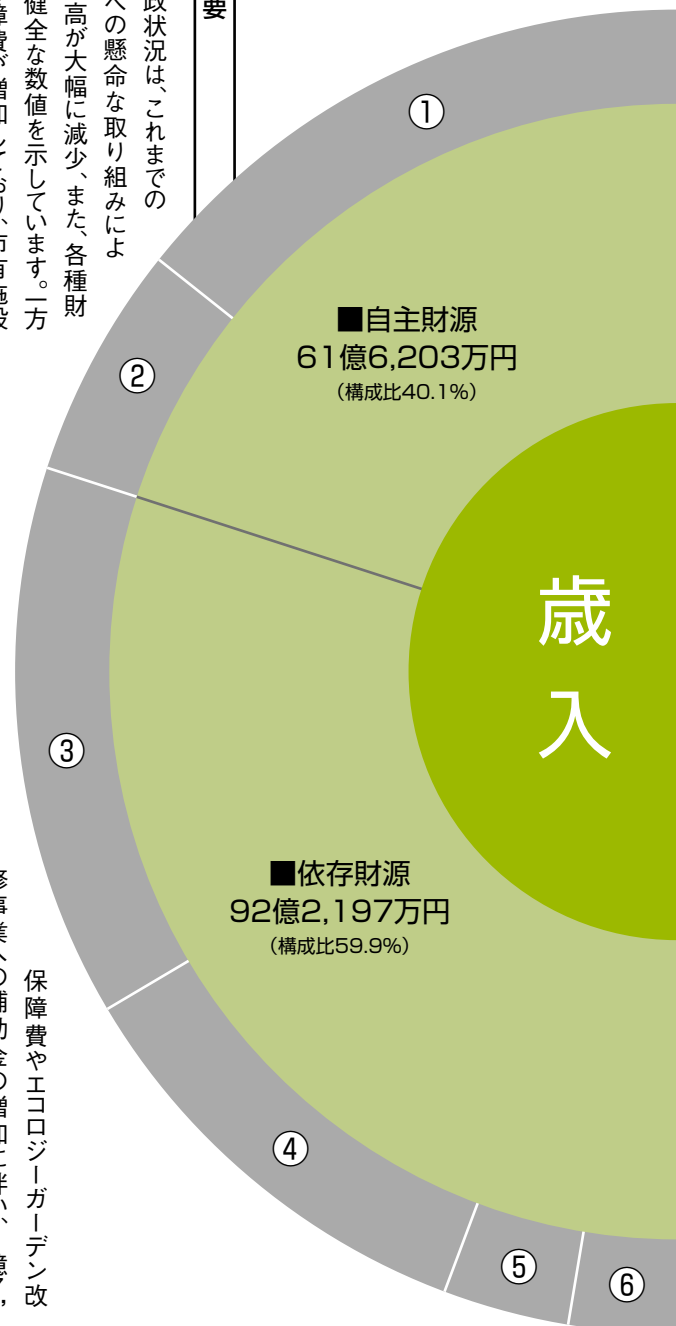
②分担金及び負担金、使用料及び手数料、寄附金など
17億5,733万円(31.8%減)
寄附金は、ふるさと納税寄附金の減少などにより、6億8,800万円の減少となりました。

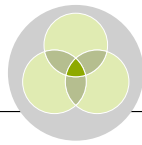
③地方交付税
41億5,000万円(0.5%減)
普通交付税は、市債にかかる措置額の減少などにより減少し、特別交付税については、前年度と同額となりました。

④国県支出金
33億1,697万円(5.4%増)
多面的機能支払推進事業費補助金が1億1,334万円減少しましたが、社会

⑤市債 9億4,510万円(47%増)
エコジージャーデン改修事業、明倫学区義務教育学校建設事業、日新中学校大規模改修事業などにより、大きく増加しました。また、財源不足を補うための臨時財政対策債(返済金の全額が地方交付税措置)は前年度と同額、市債全体では3億2,100万円の増加となりました。なお、臨時財政対策債を除いた市債は4億3,510万円となりました。

⑥地方譲与税、各種交付金など
8億990万円(0.1%増)
地方譲与税、各種交付金については、国の地方財政計画を反映した予算額となりました。地方譲与税が400万円減少したものの、自動車取得税交付金は330万円の増加となりました。





歳出の特徴

① 民生費 56億4,133万円(5.5%増)

障害者の自立支援のための介護給付費・訓練等給付費等が7,107万円、生活保護扶助費は8,018万円増加したほか、民間立保育所保育実務委託料や施設型給付費の増加などにより、2億9,529万円の増加となりました。

② 総務費 18億3,682万円(25.1%減)

ふるさと納税事業のお礼品に係る報償費が3億9,464万円、積立金が1億5,018万円減少したことなどにより、6億1,701万円の減少となりました。

③ 教育費 15億1,395万円(13.3%増)

南東北インターハイ関連事業費が3,345万円減少しましたが、明倫学区義務教育学校施設設計業務委託1億3,746万円、日新中学校大規模改修工事8,518万円などにより、1億7,727万円の増加となりました。

④ 土木費

14億7,096万円(6.3%増)

道路の長寿命化や、公営住宅の改修に係る経費が増加したほか、最上公園あじさい広場のトイレ改築工事1,500万円の計上により、8,766万円の増加となりました。

⑤ 公債費 14億5,316万円(2.9%増)

市債元金(元金償還額)は7,575万円の増加、市債利子は3,534万円の減少となりました。

⑥ 衛生費 10億6,781万円(5.9%減)

簡易水道事業統合に伴う負担1,536万円などで繰出金が2,094万円増加しましたが、エコプザもがみ運営費の最上広域分担金8,303万円の減少などにより、6,644万円の減少となりました。

⑦ 商工費 8億6,454万円(14.1%増)

新たに新庄商工会議所新会館建設費補助金2,000万円を計上したほか、エコロジージャーデンの耐震改修工事や今後の活用

に向けた調査費などにより、1億673万円の増加となりました。

⑧ 農林水産業費

6億5,889万円(36.8%減)

農業の担い手を確保するため、新たな補助金を570万円計上しましたが、国営土地改良事業負担1億9,718万円、多面的機能支払事業費1億5,113万円の減少などにより、3億8,387万円の減少となりました。

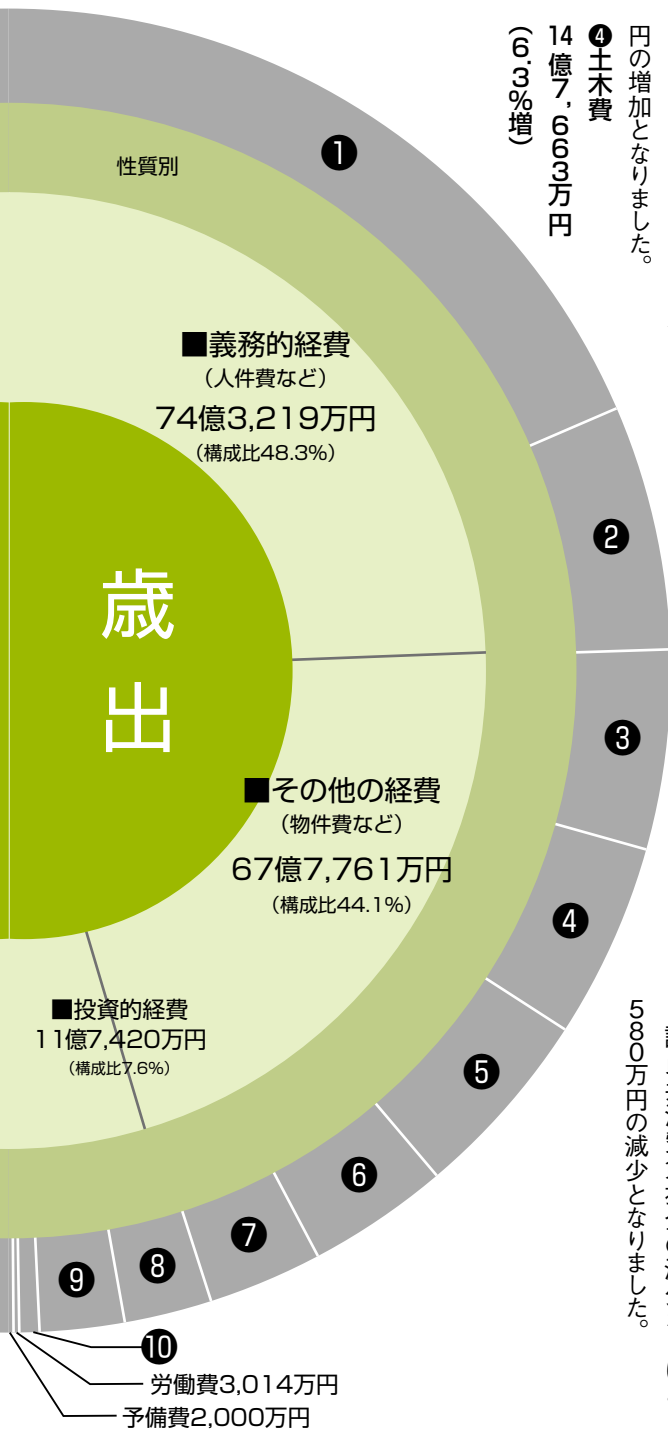
⑨ 消防費 6億3,270万円(0.5%減)

災害発生時に迅速に情報を伝達するためのデジタル防災行政無線整備に係る経費が651万円増加したほか、自主防災組織育成支援事業費補助金が310万円増加しましたが、最上広域分担金が1,765万円減少したことなどにより、308万円の減少となりました。

⑩ 議会費 1億8,803万円(3.0%減)

議員共済費負担金の減少などにより、580万円の減少となりました。

◆ 一般会計の市債残高【年度末見込】
29年度 / 147億673万円
30年度 / 143億9785万円



<p>◆ 一般会計(前年度比)</p> <p>国民健康保険事業 33億4,480万円(26.3%減)</p> <p>交通災害共済事業 605万円(0.6%減)</p> <p>公共下水道事業 16億5,035万円(10.7%増)</p> <p>農業集落排水事業 8,531万円(7.6%増)</p> <p>介護保険事業 37億3,312万円(0.2%増)</p> <p>後期高齢者医療事業 4億4,286万円(11.4%増)</p>	<p>◆ 一般会計(前年度比)</p> <p>水道事業歳入 11億9,180万円(4.0%減)</p> <p>水道事業歳出 15億2,931万円(11.1%減)</p>
---	--

雇用・交流拡大プロジェクト

暮らしを守り、住みよさが実感できるまちを創るため、
定住の基本となる「働く場」の確保と交流の拡大による活力あるまちづくりを進めます。



エコロジーガーデン推進事業	1億1,835万円	商工観光課
<p>来園者の安全確保と文化財の保存活用のため、保存活用計画および第4期利用計画に基づき、第5蚕室の耐震改修工事と第4蚕室の基本設計・実施設計を行います。さらに、施設の改修後の運営管理方法を検討するため、民間による施設運営のアイデアや可能性を把握するためのサウンディング調査を実施し、民間活力の導入に向けて公募条件等について検討します。</p>		



新庄まつり振興事業	2,991万円	商工観光課
<p>県内唯一のユネスコ無形文化遺産である新庄まつりの安全かつ円滑な運営と、まつり実施によるさらなる観光振興と地域活性化を図ります。ユネスコ無形文化遺産登録後、初めての週末開催を迎えるにあたり、本まつりの観覧体制を昨年に引き続き充実させ、観覧者増加への対応とさらなる「新庄まつりファン」の獲得を目指し、誘客拡大へとつなげていきます。</p>		



担い手総合支援助策事業	7,469万円	農林課
<p>「新庄市農業経営基盤強化促進基本要綱」に基づき、農業の中心となる経営体を増加させるために、多様な農業形態に応じた支援事業を行っています。さらに、農業所得向上を推進するために振興作物（園芸作物）栽培の研修援助や、農地を集約し面積を拡大する担い手を支援する事業も実施します。</p>		

主な事業（事業費／担当課）

■ 水田農業組織・法人育成支援事業
水稲経営の組織化、法人化を推進するために補助事業を実施し、意欲ある担い手集落の取組を支援する。
(300万円／農林課)

■ ホストタウン推進事業

東京オリンピック選手や観客など、海外から来るスポーツ選手や観客などとの人的・経済的・文化的な相互交流を図ります。(59万円／社会教育課)

■ 6次産業化推進事業

「新庄市6次産業化推進協議会」により、実践的なセミナーの開催・商品開発支援などを通じ、地域の事業者の6次産業化を支援します。
(540万円／農林課)

■ 園芸大国やまがた産地育成支援事業

園芸作物の産地を支える農業者の規模拡大、収益性の向上を目指す施設・機械の導入支援を行います。
(622万円／農林課)

■ 畜産経営競争力強化支援事業

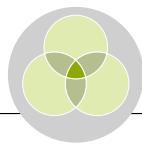
畜産経営体の意欲ある担い手の生産基盤強化、規模拡大、生産性向上に向けた支援を行います。
(1,032万円／農林課)

■ 中小企業振興対策事業

地域の中小企業等の創業支援や経営基盤強化、事業拡大を促進し、地域経済の活性化・振興を図ります。
(469万円／商工観光課)

■ 観光交流推進事業

増加が見込まれる外国人旅行者の受入体制を強化し、訪日外国人の誘客と利便性の向上を推進します。
(1億2,055万円／商工観光課)



新庄市まちづくり総合計画重点プロジェクト **2**

安全・安心充実プロジェクト

市民が安心して永く住み続けられるよう、保健・医療・福祉・防災などの体制づくりや、快適な生活環境の充実を目指します。



市営バス(まちなか循環線)運行事業	2,926万円	総合政策課
<p>バスは市民生活を支える足として機能していますが、高齢化の進行等の社会情勢の変化により需要が高まり、機能の充実や利便性の向上が求められています。</p> <p>市営バス(まちなか循環線)運行事業では、運行開始予定を11月とし、停留所の設置やバス車両の購入を行います。</p>		



雪総合対策事業	2億9,834万円	都市整備課
<p>雪に強い安全で快適なまちづくりの実現を推進します。沖の町・中山町線外流雪溝の整備を行い、「機械除雪+流雪溝」による克雪体制を推進します。北本町・南本町線消雪整備を行い、無雪状態を確保し、緊急輸送道路としての機能と歩行者の安全性を高めます。最上川用水の導入により、金沢地区等の流雪溝水源の安定化を図ります。泉田～二枚橋間の吹雪障害を解消し、冬期交通の安心・安全を確保します。</p>		



デジタル防災行政無線(同報系)整備事業	651万円	環境課
<p>本市で想定される、新庄盆地断層帯を震源とする地震、局地的集中豪雨、河川の氾濫等の災害、また国民保護法制上の非常事態に対し、適切な情報提供を行う必要があることから、市内全域に防災行政無線を整備し、本市の防災体制の強化を図ることにより、安全で安心なまちづくりを進めるものです。</p>		

■健康増進事業

市民の健康の保持増進のため、検診、保健指導等疾病予防、健康づくりの推進を図り、健康寿命の延伸を目指します。

(5,548万円／健康課)

■在宅老人福祉事業

高齢者の安全な生活と心身の健康を確保し、住み慣れた地域で安心して自立生活を送れるよう支援します。

(779万円／成人福祉課)

■新庄ハーブマラソン大会開催事業

幅広い年齢層の健康増進および体力の向上を図るため、誰もが参加できるマラソン大会を開催します。

(720万円／社会教育課)

■都市計画マスタープラン見直し事業

本市の目指す都市像および地域別の整備方針、都市施設の計画等を定めます。

(696万円／都市整備課)

■道路長寿命化事業

今後老朽化する道路の予防的な修繕を行い、道路網の安全性・信頼性を確保します。

(7,447万円／都市整備課)

■住宅リフォーム総合支援事業

一般リフォームや耐震改修に対する補助金の交付を行います。

(3,530万円／都市整備課)

■公共下水道建設事業

公共下水道の計画区域719haの早期整備と老朽化した終末処理場の改築工事を進めていきます。

(6億1,760万円／上下水道課)

子育て・人づくりプロジェクト

本市の将来を担う人材の育成は、まちづくりの根幹をなすものであり、
子育て・教育環境の一層の充実が求められます。



看護師養成所開設準備事業

140万円

総合政策課

平成33年4月の開校を目指し、看護師養成所の設置に向けた準備を進めます。医療、福祉など関係機関との意見交換を行い、地域として魅力ある看護師養成所のあり方をまとめるとともに、建設予定地を決定し、施設整備に向けた準備を行います。また、看護教員の募集や非常勤講師の確保、看護学生の実習受入先の調整などを行います。



明倫学区義務教育学校建設事業

1億3,746万円

教育総務課

平成28年度に「明倫学区小中一貫教育校基本構想」を策定し、平成29年度から明倫学区義務教育学校推進計画の策定を進めています。

平成30年度は義務教育学校の校舎および屋内体育館の実施設設計業務を進めます。基本設計に基づき建物の構造、規模、レイアウト、内外装仕上げなど具体的な設計計画や敷地内の建物などの配置・必要工期などの計画を策定します。



子ども・子育て支援新制度事業

11億120万円

子育て推進課

「子どものための教育・保育給付」により、保育施設や幼稚園などが安定した経営を行えるよう支援し、入所児童の健やかな成長に寄与します。

また、多様な支援を必要としている子育て世帯のために、延長保育や病児保育、地域子育て支援センターなどのさらなる充実に向けた取り組みを併せて推進し、すべての子育て世帯への支援を強化します。

主な事業（事業費／担当課）

■併設放課後児童クラブ整備事業

明倫学区内の小学6年生までが対象の放課後児童クラブ施設を義務教育学校の建設に合わせて一体的に整備します。(715万円／子育て推進課)

■子育て支援医療給付事業

医療保険の自己負担額を助成することにより、乳幼児・児童を抱える世帯の経済的負担の軽減を図ります。(1億3,286万円／子育て推進課)

■母子保健事業

子育て世代包括支援センターを開設し、安心して育児ができるよう、妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援を行います。(2,694万円／健康課)

■国際理解教育推進事業

国際交流体験やコミュニケーション能力の育成を含めた国際理解教育を推進します。(1,902万円／学校教育課)

■児童生徒個別支援事業

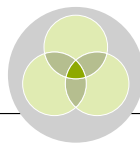
発達障がい等により学習面や行動面で著しい困難を示す児童生徒を個別に支援し、学級全体の学習活動の充実を図ります。(3,185万円／学校教育課)

■ふるさと創生人材確保事業等奨学金事業

理工系、保育士系等の地元就職を目指す学生への奨学金支援を行います。(1,482万円／教育総務課)

■若者世帯住宅取得支援事業

子育て世帯、新婚世帯、移住世帯を対象に、市内工務店による住宅の新築、空き家バンク物件購入に対し助成を行う。(1,000万円／総合政策課)



平成29年度 ふるさと納税寄附金額
(まちづくり応援寄附金)



約7億4,000万円

※平成30年3月30日時点

平成29年度は、ふるさと納税(まちづくり応援寄附金)制度により、主に市外の方々から本市のために約7億4,000万円もの寄附をいただきました。お礼品などの各種経費を差し引いた内の1億円を、寄附者の意向に沿いながら平成30年度の事業に活用させていただきます。寄附金の活用事業は次の27の事業で、その内9の事業は平成30年度からの新規事業になります。

平成30年度まちづくり応援寄附金活用事業

※(基金充当額/担当課) ★マークは新規事業

■産業の振興に関する事業への寄附分

- ★エコロジーガーデンサウンディング調査事業 (250万円/商工観光課)
- 新庄まつりラッピングトラック事業 (120万円/商工観光課)
- ★道の駅基本計画策定事業 (10万円/都市整備課)
- ★山・鉾・屋台行事観光推進ネットワーク総会開催事業 (70万円/商工観光課)
- ふるさと企業訪問奨励金 (40万円/総合政策課)
- 物産振興交流推進事業 (350万円/商工観光課)
- 情報コンテンツ整備事業 (30万円/総合政策課)
- ★水田農業組織・法人育成支援事業 (150万円/農林課)
- ★振興作物シニアチャレンジ支援事業 (40万円/農林課)
- ★振興作物栽培研修モデル事業 (90万円/農林課)
- 元気な集落営農創成事業生産組織運営費補助金 (450万円/農林課)

■医療や福祉の充実にに関する事業への寄附分

- ★乳幼児期からの特別支援活動事業 (5万円/子育て推進課)
- 子育て応援企業支援事業 (30万円/総合政策課)
- 第3子以降の児童保育料免除事業 (1,765万円/子育て推進課)
- 子育て支援医療給付事業 (2,400万円/子育て推進課)

■教育、文化、スポーツの振興に関する事業への寄附分

- ★ホストタウン推進事業 (50万円/社会教育課)
- 新庄ハーフマラソン大会開催事業 (300万円/社会教育課)
- 新庄藩主戸沢家墓所保存修理事業 (100万円/社会教育課)
- 通学手段確保対策事業 (1,350万円/教育総務課)

■社会生活基盤の充実にに関する事業への寄附分

- 若者世帯住宅取得支援事業 (500万円/総合政策課)
- 都市計画マスタープラン見直し事業 (400万円/都市整備課)

■環境の保全に関する事業への寄附分

- 容器包装リサイクル事業 (560万円/環境課)
- ごみ減量化対策事業 (40万円/環境課)

■地域づくりに関する事業への寄附分

- 自主防災組織育成事業 (450万円/環境課)
- 地域公民館整備事業費補助金 (100万円/社会教育課)
- ★地域づくり推進交付金 (100万円/総合政策課)
- 升形公民館トイレ水洗化修繕 (250万円/社会教育課)



選挙管理委員会事務局
事務局長 亀井 博人
職員数2名



市民課
課長 荒田 明子
●住民戸籍室
職員数14名



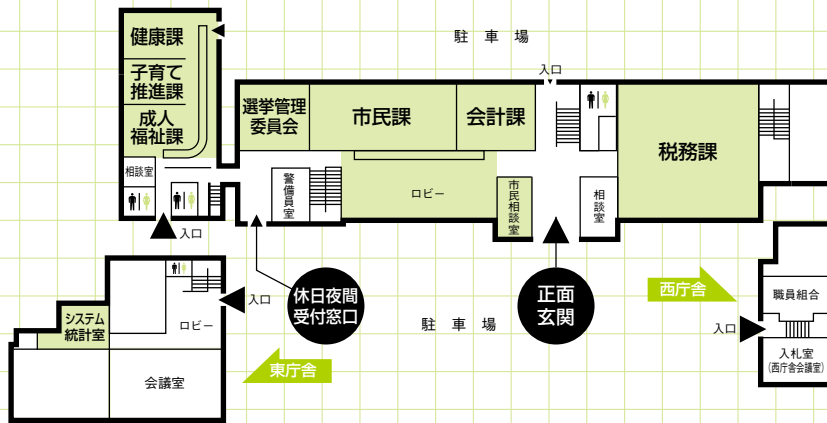
会計課
課長 吉田 浩志
兼会計管理者
職員数5名



税務課
課長 加藤 功
●課税室
●資産税室
●納税室
職員数27名



健康課
課長 田宮 真人
●国保医療室
●母子保健推進室
●健康推進室
職員数19名



子育て推進課
課長兼福祉事務所長 滝口 英憲
●子育て企画室
●保育推進室
職員数35名
※保育士・調理師を含む



監査委員事務局
事務局長 平向 真也
職員数2名



商工観光課
課長 荒澤 精也
●企業立地・商工振興室
●観光交流室
●クールジャパン新庄推進室
職員数15名



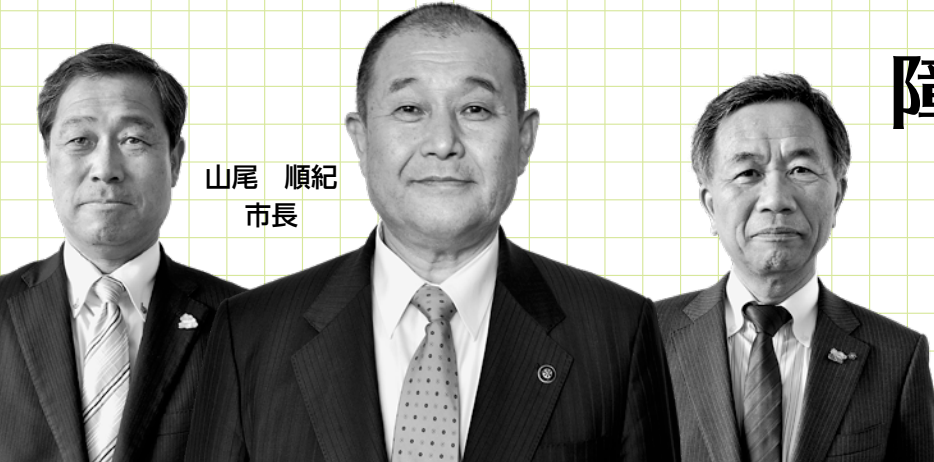
農業委員会事務局
事務局長 三浦 重実
職員数5名



農林課
課長 小野 茂雄
●農政企画室
●農業振興室
●農村・森林整備室
職員数13名



成人福祉課
課長兼福祉事務所長 青山 左絵子
●生活支援室
●高齢者福祉推進室
●障がい福祉推進室
職員数19名



山尾 順紀
市長

障がい者に
やさしい
まちづくり

伊藤 元昭
副市長



総務課

課長 小松 孝

- 秘書職員室
- 行革法令室
- 職員数12名
- ※派遣職員なども含む



総合政策課

課長 関 宏之

参事 福田 幸宏

総合政策課付課長
(最上広域市町村圏事務組合派遣)
渡辺 安志

- 企画政策室
- 地域支援室
- システム統計室
- 広報・総合情報室
- 看護師養成所準備室
- 職員数19名
- ※派遣職員なども含む



財政課

課長 板垣 秀男

- 財政運営室
- 施設マネジメント推進室
- 職員数11名



学校教育課

課長 高橋 昭一

- 職員数16名
- ※学校用務員・調理師を含む



教育総務課

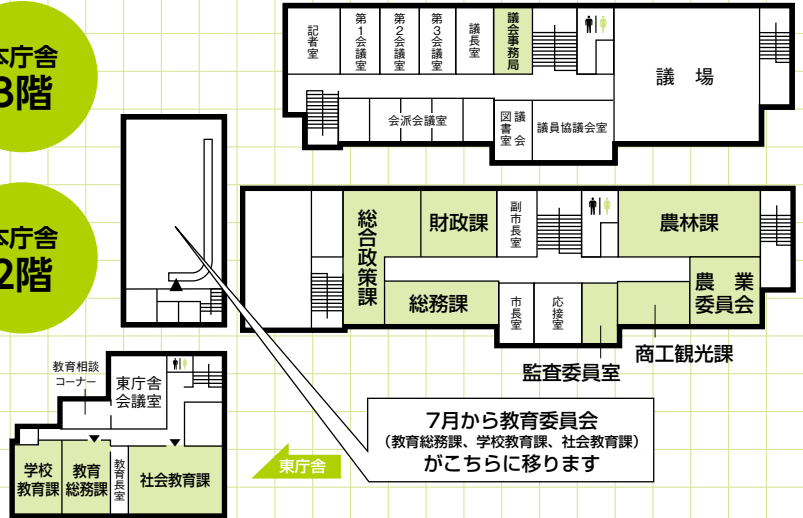
教育次長兼課長

武田 信也

職員数7名

本庁舎
3階

本庁舎
2階



社会教育課

課長 渡辺 政紀

- 職員数11名
- ※歴史センター職員を含む



都市整備課

課長 土田 政治

- 都市計画室
- 雪対策室
- 道路維持管理室
- 建築住宅室
- 高速道路対策室
- 職員数21名



上下水道課

課長 奥山 茂樹

- 業務・普及室
- 給水・施設整備室
- 下水道業務・普及室
- 下水道施設整備室
- 職員数17名



環境課

兼地域防災監

課長 森 正一

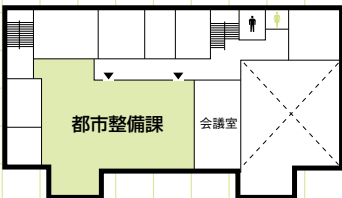
- 環境保全室
- 地域防災室
- 職員数10名



議会事務局

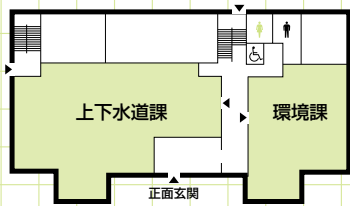
事務局長 井上 章

職員数4名



第2庁舎
2階

第2庁舎
1階



平成30年度市の組織体制をお知らせします。

高野 博
教育長

市役所では、新たに5人の新規採用職員を迎え、総勢284人の正職員および再任用職員に、臨時嘱託職員も加わり平成30年度の事務事業に取り組んでいきます。各課を取りまとめる課長や、担当事務ごとにおかれた室、各課の正職員数をお知らせします。今年度もよろしくお願いいたします。

3/3 市民映画劇場で監督が挨拶
📍 市民プラザ



○ 新庄出身大宮浩一監督のあいさつと、中高生との福祉に関する意見交換が行われました。

3/3 地域未来フォーラム開催
📍 わくわく新庄



○ 基調講演と実践活動報告が行われ、参加者は地域の未来について意見を交換しました。

3/4 子育て講座「私たちの履歴書」
📍 市民プラザ



○ 各講師の生い立ちを履歴書形式で聞きながら、参加者は子育てについて考えました。

3/10 地域おこし協力隊活動報告会
📍 市民プラザ



○ 地域おこし協力隊員4名が、これまでの活動報告を行った後、トークセッションを行いました。

3/11 第13回市民プラザまつり
📍 市民プラザ



○ 市民プラザの利用団体51団体による展示や発表などが行われました。

2/4 雪ん子俳句作品展
3/29 📍 雪の里情報館、ゆめりあ



○ 最上管内全小学校から3~6年生を対象に作品535点が集まり、60名が受賞しました。

3/14 ぎずな写真展
3/25 📍 市民プラザ



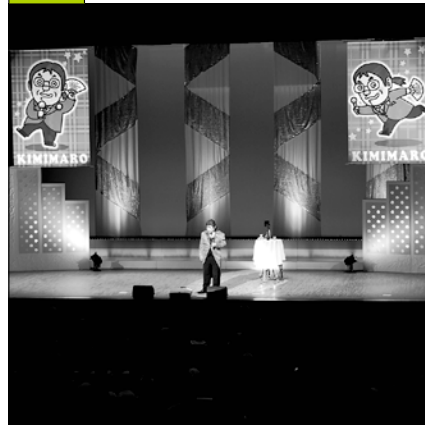
○ 全部で36点が展示され、来客者は写真一点一点の素晴らしさに感動していました。

3/19 民間派遣職員施策提案会
📍 市民プラザ



○ 株式会社電通に派遣されている職員から、雪の有効活用について施策提案がありました。

3/25 綾小路さみまる 笑撃ライブ2018
📍 市民文化会館大ホール



○ 超満員となった会場は、観客の笑いに包まれました。時間を忘れるほど大盛況でした。

PICK UP!

広報しんじょうが平成29年度山形県市町村広報コンクールで 2部門特選、1部門入選しました。

平成29年度山形県市町村広報コンクールにおいて、新庄市は広報紙市部で「広報しんじょう7月号」が組み写真部で「広報しんじょう9月号 P.4,5」がそれぞれ特選を受賞しました。また、一枚写真部では「広報しんじょう9月号」の表紙の写真が入選しました。県内でも2部門の特選は、新庄市だけでした。特選を受賞した広報紙と組み写真は、日本広報協会主催の『全国広報コンクール』に出品されます。

全国広報コンクールでは、平成28年・29年と入選しており、平成30年のコンクールでもより高い評価が得られるよう取り組んでいきます。

「広報しんじょう7月号」は、特集「ここに咲いた花～しんじょうの種と松田甚次郎～」を通して、地域資源としての地元の偉人をクローズアップしており、そこを中心とした地域の強い結びつきをうまく表現している点や、市が地域活動を応援する姿勢を読者に伝えられていること、さらに、全体的にレイアウトや写真が工夫されており、かなり作り込まれた紙面となっている点が高く評価されました。さらに、松田甚次郎を語った「土に叫ぶ人」の演劇公演には、800人を超えるお客様が市民文化会館に会場するなど、市民への影響も大きなものでした。

「広報しんじょう9月号 P.4,5」が高く評価された点は、色合いが良く絢爛豪華な祭りの様子が伝わり、昼の部と夜の部とで印象の違い、メリハリのある写真の使い方をしている点となっています。さらに、使用している写真の一枚一枚の完成度が高く、目を引く作品となっていることも高く評価されました。

今後も企画などをさらに工夫し、皆さまに愛される紙面を目指してまいります。



▲写真 一枚写真部 入選
「広報しんじょう」9月号



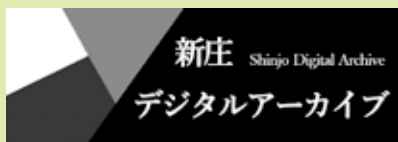
▲広報紙 市部 特選
「広報しんじょう」7月号



▲写真 組み写真部 特選 「広報しんじょう」9月号 P.4,5

『新庄デジタルアーカイブ』を開設しました。

本市が保有する歴史的に価値のある写真をデジタル化し、インターネット上に公開するサイト「新庄デジタルアーカイブ」を開設しました。本サイトは、史料写真(3月30日時点で2483点)を自由に閲覧・ダウンロード・利用することができます。昔の新庄の街並や風景などを懐かしみながらご覧ください。



◎総合政策課広報・総合情報室 内線214・215



『広報しんじょう』Instagram 始めました!

広報しんじょうがInstagramを始めました。市内をめぐり、さまざまな写真を撮影する広報職員が厳選する写真をアップしていきます。普段は気づかない素敵な新庄の一面を見つけてみてください。

詳しくは、総合政策室 広報・総合情報室へ。
内線214・215



今月の新着

郷土本

風流(ふりゅう)すんじょまつりのはじまり(紙芝居)
……紙芝居「風流すんじょまつりのはじまり」をつくらう会



一般図書

一度は観たい春を彩る桜の名所……………昭文社
BOOK BAR—お好みの本、あります。……………新潮社
経済用語イラスト図鑑……………新星出版社
超図解野菜の仕立て方の裏ワザ……………家の光協会
マンガはじめての妊娠・出産ハッピーガイド……………成瀬 瞳
消滅遺産……………日経ナショナルジオグラフィック社
魚屋三代目の魚料理教室……………魚屋三代目
脱!スマホのトラブル……………佐藤 佳弘
イザベルに薔薇を……………伊集院 静
おまじない……………西 加奈子

児童書

きょう、おともだちができたの……………得田 之久
かぶきやパン……………かねまつ すみれ
しらとりくんはてんこうせい……………栞野 浩一
はじめてまなぶもちかたのえほん……………PHP研究所
しらべよう!47都道府県の野菜……………汐文社
笑うのだけじゃだじゃあそび……………ながた みかこ
羽生善治の将棋入門—ジュニア版—……………羽生 善治
二人でなら、世界—になれる!
—金メダリスト・タカマツペア物語—……………光丘 真理

インフォメーション

テーマ展示「新庄を知る、最上を知る」

- とき 4月29日(日)まで
- ところ 図書館1階フロア
- 内容 歴史・地理・人物・昔話などをいろいろな角度から地元の魅力を知る。
※転入者にもおすすめです。

『新庄藩火消特集』 ストリートギャラリー展示

- 期間 4月30日(月)まで
- ところ ゆめりあ内ストリートギャラリー
- 内容 新庄藩が舞台になった大人気シリーズ時代小説「羽州ぼろ鷹組」シリーズを一挙展示します

本とひとをつなげる空間

図書館に行こう!

本を片手に新庄のまちにでかけよう!!

今月のブック・チャージ

本で「ココロの充電」

「郷土に思いを馳せる。郷土史研究家 大友義助先生を偲んで」

厳冬から一変して春の気配が感じられるとてもお天気の良い日、3月3日が大友義助先生のお葬式でした。たくさんの方々を惜しまれて大友先生は享年90歳の生涯を閉じられました。図書館では、郷土のわからないことや、大学の先生が訪ねてきての専門的な調査依頼など、「困った時は大友先生へ」を合言葉にレファレンス(調査のお仕事)を行っており、先生に快くご指導をいただきながら、職員も学び回答することができました。

図書館にもよく来館されて、「あの場所にあるこの本を」と14万冊近い図書館の蔵書をすべて把握されている

大友先生の執筆された郷土関係資料、歴史書、民話採話作品は新庄市民の宝物です。次世代へ深く大切にゆつくりとつなげることが図書館の役割であり、この度図書館では大友先生の著作の追悼展示を行います。市民の皆さまと心より大友先生のご冥福をお祈り申し上げます。

図書館職員一同

大友義助先生 関連情報

◀「シリーズ藩物語『新庄藩』」大友義助/著
新庄の歴史や風土、人物について深く知りたいとき図書館では郷土資料の中から大友先生が執筆されたこの作品を入門書・手引書として一番にご紹介しています。



「新庄のむかしばなし」大友義助/採話▶
昭和46年3月市制施行、二十周年記念事業のひとつとして刊行されたこの作品は、大友先生が当時テープレコーダーをかついで、長年にわたり村々の古老の語り手の方々から採話し、テーマごとに編集された血と涙の賜物です。



ヤマハ音楽教室
YAMAHA MUSIC FOUNDATION



ヤマハの教室は5月スタート! 4月(今春)最後の無料体験レッスンです!

コース	15日(日)		22日(日)		ねんれい	コース	15日(日)		22日(日)	
	金	10:30(見学可)	土	10:00(見学可)			金	10:00	土	11:30
4月開講	らっさークラス				1才	H2842~H294.1	えいごでいっしょ			19日(木) 14:50
	ぷっふるクラス				2才	H2742~H284.1	リズムポケット			10:00
	おんがくなかよしコース			10:00	3才	H2642~H274.1	ポップコーントーク			10:00
	幼児科		13:00	11:30	4/5才	H2442~H264.1	TALKidsトーク			11:00
	ジュニアスクール基礎		14:30	13:00	小学生	小学1・2・3年生	ジュニアえいごBasic			13:00
						小学4・5・6年生	ジュニアえいごProgress			14:00

個人レッスン随時入会受付中

ヤマハ英語教室
YAMAHA ENGLISH CLASS



© M.Oubo

お問い合わせ・お申し込みは TAZAWA 音楽センター TEL 22-2757

平成29年度

市民2名が【山形県卓越技能者表彰】を受賞

卓越した技能を持ち、労働者の福祉の増進と産業の発展に寄与したとして、新庄市からは、2名が、山形県卓越技能者として表彰されました。

毎年、受賞者が少ない中(今回8名)、新庄市の2名が受賞するという快挙を達成しました。



平成29年度 山形県卓越技能者等表彰式 平成29年1月19日 山形県庁 講堂



表具師 井上春男さん(泉田)

受賞者コメント

この度は、貴重な表彰を受けることができ、大変ありがたく思っております。少しでも多くの方々に表具師という職を知っていただくこと、表具師という仕事の魅力に気づいていただくと幸いです。今回の受賞でのごり高ぶらずに、真摯に表具師として邁進してまいります。



配管工 内山晴道さん(下田町)

受賞者コメント

山形県卓越技能者表彰を受賞することができ、とてもうれしく思っております。これまで配管工という職はあまり注目されておりましたが、私がこの表彰を受賞することによって、配管業界の益々の発展に寄与できればと思っております。さらに、私の持っている技能を次の世代へと受け継ぐことが出来るよう、これまで以上に努力してまいります。

市民3名が【新庄市卓越技能者表彰】を受賞

市卓越技能者表彰とは、本市産業に従事し、その発展に貢献した優秀かつ模範的な技能者を表彰するものです。近年、受賞者の職種も多様化してきており、さらなる卓越技能者を発掘するため、平成30年度も卓越技能者を募集します。



建築大工 沼澤全二さん(城南町)

木造軸組み工法や曲がっている木を梁として虹のカーブのように使用し、屋根の上にたくさんの雪が積もり負担がかかっても丈夫なため、新庄に適した建築方法の技能が高く評価されました。

受賞者コメント

名誉ある卓越技能者表彰受賞、大変ありがたく思っております。今年で丸50年間建築大工として従事してまいりました。これからも若い大工職人を育てるために一生懸命頑張ります。



家具工 鎌田和夫さん(宮内町)

様々な家具を1点1点手作りで製作し、長年の経験で培われた良質な木材を選ぶ際の感覚を駆使した木の暖かさや、素材のぬくもりを伝える技能が高く評価されました。

受賞者コメント

このような賞を頂けるとは思っていませんでしたので、皆様に評価をいただき感謝しております。これからもお客様に喜ばれる家具を作っていきたいと思っております。



発明家 大内 昭さん(松本)

地域貢献や社会問題解決のために、発明品を開発(特許品あり)し、子供たちにもものづくりや発明の楽しさを伝える等、地域人材教育に尽力している点が高く評価されました。

受賞者コメント

発明家としてやってこれたのも家族の支えがあったからだと思っております。これを機に、さらなる発明品開発や地域貢献ができるよう、さらに精進してこれからも頑張っていきたいと思っております。

◎詳しくは、商工観光課 TEL内線254

最上地域で10年以上の実績！お気軽にご相談ください

新庄ひまわり基金法律事務所

<破産・過払い金> 債務整理初回相談無料
離婚・相続・交通事故・その他法律相談など

法テラス無料相談取扱あり



山形県弁護士会所属 〒996-0024 新庄市多門町2-7ネバーランドビル2階
弁護士 千葉剛志 ☎0233-28-7062

Technology to Inspire Innovation

2019年卒 新卒採用募集！航空電子

詳しくはHPをご覧ください。

HP : <http://www.yae.jae.co.jp/>

山形航空電子株式会社 TEL:0233-24-1111



	36,212人	(36,641人)	2月の異動
2月末現在の 新庄人	男 17,238人	(17,417人)	出生 23人 (17人)
	女 18,974人	(19,224人)	死亡 47人 (47人)
	世帯数 13,822世帯	(13,773世帯)	転入 57人 (52人)
			転出 118人 (98人)

※()は1年前の日本人+外国人の数です。

- ところ 最上中央公園周辺
- 参加条件 3~5名/1グループ
- 申込締切 4月20日(金)

kaigoワンポイント無料相談会

◎グループホーム大手町 Tel.23-8080

- 対象 認知症状のケアにお悩みの方
- とき 4月17日(火)10時~15時
- ところ グループホーム大手町3階ふるとホール
- 内容 介護支援専門員・認知症ケア専門士・看護師による認知症状への対応に関するアドバイス
- 費用 無料 ※予約不要、秘密厳守

子育て支援者養成講座を開催します。

◎はぐみ保育園・阿部、岸 Tel.080-5552-7324

- 対象 20歳以上
- とき 5月9日(水)~6月13日(水)計24時間
- ところ スタイルハート内セミナールーム(本町1番7号)
- 内容 相互援助活動を行うための講座
- 定員 10名
- 参加費 無料 ※テキスト代2,571円
- 申込締切 4月25日(水) ※要電話申込

市民農園入園者募集

◎農林課農業振興室 Tel.内線269

- とき 5月~11月
- ところ 下西山地区
- 内容 区画面積1区画約50㎡ ※印鑑持参のうえ、農林課にある所定の申込書にて申込。なお、申込多数の場合は抽選とします。
- 経費 1区画3,000円
- 申込締切 4月20日(金)

文化遺産 新庄まつりの歴史を知ろう

◎わくわく新庄 Tel.23-0197

- とき 6月7日(木)①10時~11時30分、②13時~16時
- ところ ①わくわく新庄会議室(事前学習)、②バスにて文化遺産めぐり
- 内容 新庄祭りの歴史学習とそれに関連した文化遺産巡り
- 講師 三浦和枝氏
- 定員 20名
- 参加費 1,800円(昼食付)
- 申込締切 5月31日(木)

- 持ち物 筆記用具、カメラ(必要な人)

わくわくデジタルカメラ初心者教室

◎わくわく新庄 Tel.23-0197

- とき 6月9日~7月14日までの毎週土曜日【全6回】14時~16時 ※6月29日のみ金曜日(終日野外撮影会)
- ところ わくわく新庄会議室
- 講師 戸塚 喜八氏
- 定員 15名
- 参加費 3,000円(全期間)
- 申込締切 6月2日(出)
- 持ち物 コンパクトカメラまたはデジタル一眼レフカメラ、取扱説明書、SDカード(4~8G程度)

女声コーラスかがやきコンサート "大人のアレンジで楽しむ日本のうた"

◎市民文化会館 Tel.22-7029

- とき 4月22日(日)14時~
- ところ 市民文化会館1階ロビー
- 内容 お茶を楽しみながら、なつかしい歌をご一緒に口ずさみましょう。
- 入場料 無料

合唱団の募集

◎市民文化会館 Tel.22-7029

1981年に会館創立記念として、当時の山形交響楽団とともに「第九」を初演し好評を博しました。
このたび、市民からの要望もあり、37年ぶりに市民文化会館において「第九」の演奏会を開催する運びとなりました。つきましては、山形交響楽団の演奏と共に「合唱団員」として参加できる人を広く募集します。

- 対象 中学生以上で練習日程にほぼ参加でき、12月本番の指揮者練習およびゲネプロに参加できる人
- ※合唱経験の有無は不問。
- とき 発会式:6月4日(月)19時~
- ※詳細は、当日説明
- ところ 市民文化会館
- 定員 ソプラノ30名程度、アルト40名程度、テノール15名程度、バス15名程度
- 参加費 一般5,000円(ベーレンライター版楽譜含)、中高生は2,000円(楽譜代)

催しなど

新庄かど焼きまつり



- とき 4月29日(日・祝)~5月5日(土・祝)11時~16時まで(15時受付終了)
- ところ 最上公園内「特設会場」
- 料金 前売券/お一人様2,000円(税込)、当日券/お一人様2,300円(税込) ※座敷席希望の方は別途300円
- ◇お一人様セット内容/カド(大1尾)・花見だんご・お茶・山菜のおひたし
- その他 都合による不参加等、前売券の払い戻しは行いません。雨天時の場合は、セット内容現品をお渡しいたします。前売券の販売は、4月28日(出)までとなっております。

◎新庄観光協会 Tel.22-2340

産直まゆの郷「桜まつり」開催

- とき 4月29日(日)9時~18時
 - ところ 産直まゆの郷
 - 内容 野菜・花・農産物の販売。大好評の「焼きおにぎり」に加え、新庄の春の風物詩「カド焼き」の販売も行います。「豚汁」サービスあり。
- ◎産直まゆの郷 Tel.23-5007

「星空を紡ぐ」写真展

- とき 4月7日(土)~5月31日(木)
 - ところ 雪の里情報館1階雪国ギャラリー
 - 内容 写真家森茂氏による写真の作品展示
 - 入館料 無料
- ◎雪の里情報館 Tel.22-7891

毎月第2・4 土曜日 11:30~15:00

鳥市

新庄駅前の鶏肉店「鶏や」にて開催!!

◆工場直送精肉店 営業時間/11:30~15:00
◆憩いの立ち飲み屋 営業時間/17:00~20:30

山形さくらぼろ鶏
鶏や

新庄市沖の町2-28
TEL.0233-32-0531 日曜定休日

平成30年度～平成32年度の介護保険料が決まりました。

市では、今後の高齢化の進展に伴い必要となる介護サービスとそのサービス提供にかかる費用や介護保険給付準備基金の活用を検討し、基準保険料年額を74,400円とするなど、各所得段階の保険料を下記のとおり決定しました。

所得段階	対象者	保険料率	保険料年額
第1段階	・生活保護を受給している人 ・世帯全員が市県民税非課税で高齢福祉年金を受給している人 ・世帯全員が市県民税非課税で、前年の課税公的年金等収入額+合計所得額が80万円以下の人	※0.45	33,400円
第2段階	世帯全員が市県民税非課税で、前年の課税公的年金等収入額+合計所得額が120万円以下の人	0.65	48,300円
第3段階	世帯全員が市県民税非課税であって、第1段階・第2段階以外の人	0.75	55,800円
第4段階	市県民税が課税の世帯員がいるが、本人が非課税で前年の課税公的年金等収入額+合計所得額が80万円以下の人	0.85	63,200円
第5段階	市県民税が課税の世帯員がいるが、本人が非課税で前年の課税公的年金等収入額+合計所得額が80万円を超える人	1.00	74,400円
第6段階	本人が市県民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満の人	1.20	89,200円
第7段階	本人が市県民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上200万円未満の人	1.30	96,700円
第8段階	本人が市県民税課税で、前年の合計所得金額が200万円以上300万円未満の人	1.50	111,600円
第9段階	本人が市県民税課税で、前年の合計所得金額が300万円以上の人	1.70	126,400円

※第1段階については、公費を投入し、保険料率を0.5から0.45に軽減しています。

◎成人福祉課高齢者福祉推進室 Tel内線551

障がい者のタクシー券・給油券について

◎成人福祉課障がい福祉推進室 Tel内線546

■対象 以下のいずれかの手帳をお持ちの方
①身体障害者手帳1級から3級(3級については視覚・下肢・体幹・移動機能障害に限る)②療育手帳A③精神障害者保健福祉手帳1級

※給油券については上記要件に加え障がいを事由として自動車税(軽自動車を含む)の減免措置を受けている方のみが該当します。

■ところ 成人福祉課②窓口

■持ち物 該当する手帳、印鑑、自動車税の減免を受けていることがわかる書類(給油券の場合)

国民年金保険料学生納付特例制度のご案内

◎新庄市年金事務所 Tel22-2050
市民課 Tel内線133・134

20歳から60歳までの間は必ず公的年金に加入することになっています。学生の方は、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付

特例制度」があります。

対象となる方は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校(修業年限1年以上である課程)に在学する学生などの方です。

また、学生納付特例の承認期間は4月から翌年の3月までとなりますが、承認を受けた次の年度も在学予定である場合は、4月始めに再申請の用紙が届きます。引き続き学生納付特例制度をご希望の場合は、必要事項を記入のうえご返送ください。

わらすこ広場利用のお願い

◎新庄子育て支援センター Tel22-5115

当広場は、0歳から小学3年生までが利用できます。

未就学児は、必ず保護者同伴で利用してください。なお、託児は行っておりませんので、けがなどがなくよう楽しく遊んでください。

子ども同士だけの利用は、衝突事故などを防止するため、小学1年生～3年生までとしています。また、緊急時のために連絡先の事 ■

前登録をお願いしています。登録用紙は、わらすこ広場受付に用意してありますので、事前の手続きをお願いします。

小学1年生は、体力面や行動面において注意が必要なため、8月までは、安全管理上保護者の付き添いをお願いしています。

介護福祉士修学資金および保育士修学資金の貸付について

◎県福祉人材センター:結城・渡部
Tel023-633-7739

■内容 両資金とも貸付内容は次のとおりです。月額5万円(年額60万円)、入学準備金20万円、修学準備金20万円 ※すべて無利子での貸付

■募集人員 ・介護福祉士修学資金 40名
・保育士修学資金 70名

■申込期限 5月18日(金)必着

※養成施設を通しての申し込みです。詳しくは、電話でお問合わせください。

平成30年度自動車税(県税)の納税について

◎最上総合支庁税務課 Tel29-1229

自動車税の納期限は5月31日(木)です。

お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアのほか、インターネットを利用してクレジットカードでも納めることができます。忘れずに期限まで納めましょう。

県縦断駅伝競走大会に伴う市役所駐車場の利用について

◎社会教育課 Tel内線471・472

■期間 4月27日(金)12時30分～16時、28日(土)7時～9時

期間中は、大会関係車両駐車のため、市役所本庁舎前駐車場が利用できません。

本庁舎裏駐車場(半面)または第二庁舎駐車場をご利用ください。

スポGOMI in 新庄大会

◎市体育協会 Tel23-1000

■とき 4月29日(日)受付9時30分、終了12時予定

調理スタッフ募集!

新庄市内の福祉施設勤務

	正社員	パート社員	パート
勤務	6:00～15:00 9:30～18:30 実働7.5h	6:00～15:00 10:30～19:30 実働7.5h	6:00～18:30 内実働5.5h
休日	月8日(シフト制)	月8日(シフト制)	応相談

お気軽に
お問い合わせ下さい!
担当者 松田
療食 株式会社ベスト 新庄支店
〒997-0851 新庄市千門町13-20 ☎0233-23-7690



小学生クラス生徒募集!

今年度入学生締切間近。小学生はお急ぎください!

英語教育の資格を持った外国人講師と、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく学ぶから英語が自然と身につきます。

マイ英語スクール・新庄校
こらっせ新庄1階 / myeigo.com

Tel32-1377

無形文化財「鍛金」保持者



人間国宝 奥山峰石

匠の技術が光る 端麗優美な銀の器



銀の一枚板から打ち上げて
作られた「ぐい呑み」。
それぞれ紅白梅と桜の繊細で
見事な装飾が施されています。

ものづくりの街しんじょう

「雪とまつりのまち新庄」には、「ものづくりに長けている」人が多いという特徴があります。それは、農業の閑散期でもある積雪期に、手仕事で収入を得ていたという雪国らしい文化が起因しています。

そのため、新庄市出身者には非常に優れた感性を持った芸術家や、創作意欲に溢れた市民団体、高い技術と品質の製品を作り出すものづくり企業などが数多く存在しています。今年度は、そんな「ものづくりの街しんじょう」に関わる人々を紹介していきます。



人間国宝・奥山峰石

昭和12年生、市内泉田出身の奥山峰石氏。

金属工芸の技法の一つである「鍛金」において活躍し、平成7年に無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。当時の山形県では初の快挙でした。

奥山峰石氏の作品は、銅と銀と金を合金した鍛造が困難な【臙銀】を素材として、金属を叩いて打ち上げる「鍛金」の技法を用いています。一枚の金属板を叩いて成形するため、作品によっては数カ月かかり、かなりの労力と時間を要する根気との戦いになるそうです。

作品の多くは、独特な発色の銀灰色を示す端麗な器形で、「鍛金」では困難とされる微細な装飾が施されており、日本古来の高度な伝統技法と奥山峰石氏自身の斬新な感覚が映し出されています。

奥山峰石氏の作品の一部は「ふるさと歴史センター」に展示中。

